

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

## 記

1. 講 師 川添記念病院 精神科医長

本村 春彦 先生

2. 演 題 歯科心身領域における患者さん対応の工夫

3. 日 時 平成28年12月2日(金)18時00分～20時00分

4. 場 所 10号館2階210号室 歯科心身医学分野医局

## 5. 要 旨

一般的な歯科領域とかなり趣を異にする歯科心身医学領域において、最も基本的な診察の工夫をいくつか紹介。さらに実際の臨床で各先生方が苦労しているところを対話形式で共有し、対応の仕方を考える機会をつくることを目指す。それぞれにあった臨床スタイルを探求する一助となれば幸いである。

連絡先： 豊福 明（歯科心身医学分野 内線64110）

ちょうど10年目を迎えたこれまでの本村先生の一連の講義のエッセンスをぎゅっとまとめて、少人数で双方向性の講義にして頂きました。

患者さんとの治療関係を構築する際に重要な事項を、以下の4点に絞って解説して頂きました。

①俯瞰する

面接の状況は「関与しながらの観察」であることを自覚し、患者さんと治療者を含んだ系として生じている現象を捉える。

②二等辺三角形

治す人と治される人という直線関係(しばしば対立関係に変わる)ではなく、患者さんと協力しながら病気と一緒に治していく、治る方法を探していくという関係に持っていく。

③治療の枠

患者さんの意向と治療者側の意図が一致しない場合、共通認識を増やしていき、協力体制の構築と治療の脱線を防止するための事前の約束事

④距離感

患者さんに入れ込みすぎても、冷たすぎても治療は上手く行かない。適切な距離の維持と調整が重要。

具体的な事例・臨床経験を参加者に挙げてもらい、みんなで議論するという講義になり、初学者にはなかなかすっと理解し難い重要な概念も腑に落ちるようになりました。しかし、Trang先生のために英語に訳すのは至難の業でした(汗)。

